

第2回県西地域サイクルツーリズム推進協議会
議事概要

1 日時

令和5(2023)年3月13日(月) 10:00~11:30

2 場所

Web会議

3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

4 議事

- (1) モデルルートの決定について
- (2) モデルルート名称の決定について
- (3) 走行環境整備について
- (4) 情報発信・広報について
- (5) 今後の進め方(案)について

5 結果概要

- ・ 県西地域モデルルートについて、事務局案のとおり決定した。
- ・ 県西地域モデルルートの名称について、事務局案のとおり決定した。
- ・ 走行環境整備の方針について、第1いろは坂等特段の留意を要する箇所についての対応と併せて説明した。
- ・ 事務局から情報発信・広報の方法について説明し、その後質疑応答を行った。
- ・ 今後の進め方(案)について説明し、来年度から協議会事務局が「県民文化スポーツ部スポーツ振興課」へ移管する等の説明をした。

6 委員の主な意見

- (1) モデルルートの決定について

○事務局

前回協議会にてモデルルート(案)を示したが、試走会等を経て、宇都宮市内2箇所、鹿沼市内1箇所変更する。宇都宮市森林公園にはサイクリングの拠点となるサイクルターミナルが併設されているため、宇都宮市森林公園までのルートを新規追加する。また、宇都宮市内の栃木街道の一部区間では、試走の結果を踏まえ、並行する宇都宮市道や県道羽生田鶴田線にルートを変更する。鹿沼市内の県道宇都宮楡木線については、試走の結果

を踏まえ、鹿沼市道（花木センターを通るルート）に変更する。

○宇都宮市（代理：高瀬氏）

試走した結果、栃木街道の一部区間では路肩が狭いため、すでに走行環境を整備している市道へルートの変更を提案した。また宇都宮市森林公園までにルートは、ジャパンカップコースに設定されているので、ルート追加の提案をした。宇都宮市の取組と連携したルートとなっている。

○鹿沼市（代理：市川氏）

南摩ダム周辺における水資源地域振興拠点の整備や、鹿沼市花木センターの道の駅化構想を見据えた、市内の観光産業に寄与するルートとなっている。上級者向けのコースが多く、走れる人が限定されるかもしれないが、ルートの活用に協力していきたい。

○日光市（代理：川田氏）

基本的に道路の幅が広い箇所をルートに設定しており、観光振興に寄与するルートとなっている。ただ第一いろは坂は危険なので、走行環境整備も含めて協力していきたい。

○塩谷町（代理：平石氏）

町内は初級者向けのルートになっており、特に異論ない。

○高根沢委員（㈱栃木プロジェクトプロ）

街中を通るルートから文化的遺産を通るルートまでバリエーション豊富なモデルルートとなっている。鹿沼市内は上・中級者向けのルートが多いとの話があったが、初心者へどのようなルートを提案できるか、行政と民間事業者が一体となって情報発信をしてほしい。地域が喜び、また自転車が観光に結びつくようなモデルルートとなるよう磨いてほしい。

○事務局

例えば、宇都宮市の森林公園までのルートは上級者向けとなっているが、森林公園内にはレンタサイクルやファミリー層向けのサイクリングコースが設けられているため、併せて情報発信していきたい。

(2) モデルルート名称の決定について

・意見質疑なし。モデルルート名称として、「栃木県サイクリングルート“ルート NIKKO”（ルート 25）」、いろは坂セクションの愛称として「イロハライド」で承認。

(3) 走行環境整備について

○事務局

前回協議会にて整備方針は承認されたが、除雪により路面表示が切削させる可能性が高い箇所(日光市馬返～湯元)や既存の路面表示との錯綜が懸念される箇所(宇都宮市中心部)、景観への配慮を要する箇所(日光市二社一寺周辺)では、路面表示は設置せず、案内看板で適宜案内を補足したい。

また第一いろは坂において現地調査を行い、休憩スポット候補地や急カーブ部で転落の恐れがある箇所を抽出した。今後、道路管理者・交通管理者と対応策について協議・検討を進める。

○宇都宮国道事務所(代理:島田保全対策官)

いろは坂は大型観光バスの通行が多く、また急カーブが続き、冬期の通行に配慮しなければならないため、引き続き対策の検討をお願いしたい。

(4) 情報発信・広報について

○事務局

ポータルサイト・サイクルマップについて、他地域同様に協議会内でワーキンググループを設置し、作成する。

サイクルマップの配布数は約3,000部を想定しており、各関係市町、観光協会、道の駅等や協議会委員、首都圏のサイクルショップ等へ配布したい。残数は本課で保管し、サイクルイベント等で適宜配布する。

○篠原座長

サイクルマップは部数も限られているので、有識者からの意見をもとに配布先を検討してほしい。ポータルサイトについては、情報の取得方法やその後の行動について分析が必要である。

○高根沢委員(株)栃木プロジェクトプロ)

まずはターゲットを絞って発信することが大切である。また現代のネット社会の中で選ばれる魅力的な情報となるようにしなければならない。将来的に地域にお金落ちるように、サイクルツーリズムが観光・文化や食・農林等の方面へつなげ、連携することが大切である。

(5) 県西地域における取組について

①日光・鬼怒川エリアにおけるサイクルトレインサービスの実証実験について

○東武鉄道(株) (代理：岸氏)

日光市観光協会が進める「日光市サイクルタウン」推進業務と連携し、日光鬼怒川エリアにて観光客の回遊促進を図るため、昨年11月より東武日光～下今市～鬼怒川温泉間でサイクルトレインの実証実験を実施している。

2月13日時点の乗車人数は、下今市駅12人、東武日光駅4人、鬼怒川温泉駅0人という結果になっている。数字は伸びていない印象であるが、下今市駅から乗車し、東武日光駅・鬼怒川温泉駅方面に向かう傾向がみえたため、実験結果を踏まえて、宣伝していきたい。

○篠原座長

情報を欲している人たちに周知されていたか。

○東武鉄道(株) (代理：岸氏)

周知不足だったことも考えられるが、例えばJR東日本(株)が実施しているサイクルトレインサービスは、東京からそのまま自転車を持ち込めるが、弊社で実施しているサービスは下今市駅でレンタルした自転車をサイクルトレインに持ち込み、日光・鬼怒川エリアを回遊することが目的となっている。

○柿沼委員 (宇都宮ブリッツェン)

全国的にサイクルトレインサービスの需要は高まっている。周知不足との話があったが、徐々に浸透すると思うし、観光地が多い日光市を回遊することは非常に大きな魅力である。新型コロナウイルス感染症の拡大が収束している中、実証実験で終わらず、長い目でみてほしい。

○篠原座長

もっと認知されて浸透していけば新たな需要に繋がると思う。単発の実験で結論付けるのではなく、具体的にどのルートが望まれているのか、地元から東武鉄道(株)へ提案することが大切である。

○東武鉄道(株) (代理：岸氏)

先につなげることが今回の実証実験の意義であるので、所管部署にしっかりと話を繋げたい。

○JR 東日本(株) (代理：清水氏)

千葉エリアでのサイクルトレインサービスは実施しているが、現在、栃木県での取り組みはない。鉄道からの2次交通を検討していくうえで、自転車は誰にでも利用しやすいメリットはあると考える。本協議会での議論を参考にさせていただく。

○高根沢委員 (株)栃木プロジェクトプロ)

実証実験ではあるが、長い時間をかけて取り組んでほしい。周知方法として、特定のサイクリストのコミュニティにしっかりと発信してみたい。

○篠原座長

マーケティングの対象を明確にし、情報発信については、共通な趣味を持つコミュニティの情報発信サイトや本協議会委員が持つコミュニティを活用してほしい。

②日光市サイクルタウンの取組について

○日光観光協会

日光市サイクルタウン推進事業として、日光市内のサイクルツーリズム関連の取り組みを整理しており、多様な関係者が一堂に会することで、これまで単独で行われていた取組について相互の連携を図る。日本有数のサイクルタウンとして国内外から認知されるべく、有識者等からのご助言もいただきながら、市や県、国とも連携しながら取り組んでいきたい。

(5) 今後の進め方 (案) について

○事務局

R5 年度以降は、走行環境整備、ポータルサイト・サイクルマップの作成、フォローアップを行う。また協議会事務局が生活文化スポーツ部スポーツ振興課へ移管する。

○篠原座長

新部局へ移管となってもスポーツ振興の視点だけでなく地域振興部局と観光部局との繋がりを維持してほしい。

(6) その他

○藤村委員

高根沢町ではモデルルートの走行環境整備が見受けられ、ドライバーの意識も高まっていると感じる。4つのモデルルートが設定されたので、サイクルツーリズム事業が県民に広く認識されてほしい。

○大森委員

とてもいいルートが設定されたと思う。県内外に向けて情報発信をしっかりとやってほしい。日光市サイクルタウン協議会の委員になっているため、連携していきたい。

(7) 総評

○篠原座長

サイクルツーリズム事業を通して、地元観光地にしっかりとお金が落ちるしくみを作ることが大切である。通過市町、行政含めて、各関係者には魂を入れてルートを育ててほしい。

○事務局

委員の皆様には情報発信の協力をお願いしたい。繰り返しになるが、宇都宮森林公園までのルートは上級者向けとなっているが、併設する宇都宮サイクルターミナルは初心者向けの施設が整っていることや、南摩ダムの水資源地域振興拠点の前後は中上級向けではあるものの初心者向けの自転車コンテンツがあると聞いている。このようなモデルルートの枝葉となる部分も併せてトータルでPRしていきたい。